

守門岳山行報告

【山行日】2024年 6月16(日)曇り後晴

【集 合】岩舟支所 P AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 4,200円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:藤原ト、
青柳、石澤、小林、鈴木ミ、野口、廣瀬ナ、
福島、渡邊カ

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=保久礼登山

口 P6:20/6:40~保久礼小屋 7:10/7:15~

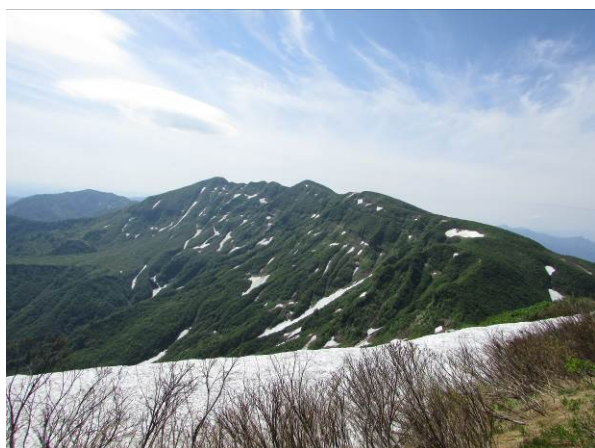
キビタキ小屋分岐 7:45~大岳 8:55/9:15~

大岳分岐 10:00~青雲岳 10:15/10:25~

守門岳 10:35/10:55~青雲岳 11:00/11:40~

大岳分岐 12:00~滝見台 12:40~二口登山口 P13:35/13:45=岩舟支所 P16:45

ヒメサユリの可憐な花に会いたいと思い、新潟県の守門岳に登る計画を立てた。岩舟支所を4:00に出発し、北関東道から関越道を進み小出ICで降りる。インターを出て国道17号線から国道252



号線を進み、上条駅前から左折して国道290号へ入り貫木の交差点を右折して県道407号線を進む。二分橋から林道二分・栃尾線に入り、狭い山道を進むと二口登山口に着く。ここには立派なトイレが設置されており、トイレを済ませてこの先の二分登山口の駐車場に車を止める。皆さんが出発の準備を終えたらストレッチを行ってもらい、我輩と廣瀬さんは車をデポしに二口登山口に向かう。二口登山口駐車場に廣瀬さんの車をデポし、我輩の車で二分登山口に戻って出発す

る。コウクルミ沢沿いに登って行くが、このルートはあまり登る人が無いようで荒れていた。

沢が大きくカーブする所から左に急坂を登るようになり、九十九折れの道を登ると保久礼小屋からの道に合わさる。休憩して衣服調整し、汗をかいたので水分とアミノバイタルを補給する。天気予報は曇りで15時から雨の予報になっていたが、陽が差し蒸し暑くこれからの登りが思いやられる。

ここからは丸太の階段が続き、後ろから「階段は嫌いなんだよ」と不満そうな声が聞こえてくる。キビタキ小屋分岐に着くが、雨に降られたくないので小屋には寄らず先を急ぐ。ここからも急登が続き体はきつい

が、ブナの新緑やイワカガミの花に癒されながら登って行く。所々樹林が切れて展望が開けるが、遠くの山々は霞んで見えない。

る。コウクルミ沢沿いに登って行くが、このルートはあまり登る人が無いようで荒れていた。沢が大きくカーブする所から左に急坂を登るようになり、九十九折れの道を登ると保久礼小屋からの道に合わさる。休憩して衣服調整し、汗をかいたので水分とアミノバイタルを補給する。天気予報は曇りで15時から雨の予報になっていたが、陽が差し蒸し暑くこれからの登りが思いやられる。ここからは丸太の階段が続き、後ろから「階段は嫌いなんだよ」と不満そうな声が聞こえてくる。キビタキ小屋分岐に着くが、雨に降られたくないので小屋には寄らず先を急ぐ。ここからも急登が続き体はきつい



高度が上がると灌木帯の登りとなり、渡邊さんがヒメサユリの花を見つけた。すぐ先の開けた場所



で休憩すると、まだつぼみが多いがいくつかのヒメサユリを見ることが出来た。ここからは傾斜が緩やかになり、灌木帯を抜けると視界が開けてくる。目の前に大岳が大きく迫り、力を振り絞って登ると大岳山頂に出る。山頂には三角点と祠が置かれており、越後三山の越後駒ヶ岳や中ノ岳、八海山が望める。ゆっくり展望を楽しみながら休憩し、山頂標識前で記念写真を撮る。山頂から少し南に行くと、残雪模様の守門岳がドツシリと聳え圧倒される。大岳から一旦下って青雲岳

に登り返すが、ここからの下りが花が多く素晴らしい。残雪の守門岳を正面に見ながら下り、登山道にはヒメサユリが数多く咲き山上の楽園である。ただしガレた急降下で雪の上を歩く箇所もあり、滑落に注意して慎重に下って行く。空が晴れてピンクの可憐なヒメサユリに出会い、皆さん感動しながらスマホに収めていた。ニッコウキスゲが咲き始めた場所では、ピンクと黄色の花のコラボに歓声上がる。鞍部から登ると大岳分岐の標識が立つ尾根に出て、左に青雲岳に向かって登って行く。灌木帯の尾根を登ると木道を歩くようになり、緩やかに登ると湿原が現れて青雲岳に着く。平坦な山頂で木製の大きな休憩所があり、休憩して水分を補給し疲れた足を休める。ザックをベンチにデポし、空身で守門岳に向かうことにする。身軽になって軽快に登り、10分程で守門岳山頂に着いた。山頂は平坦で広く、間近に浅草岳や越後三山、平ヶ岳など望めるが、空が曇って来てうっすらと見える。展望を楽しみ記念写真を撮ったら青雲岳まで戻り、ここでランチタイムにしてお湯を沸かす。それぞれカップ麺やスープを作り、おにぎりやお稲荷さんをいただく。ランチが済んだら



下山開始し、大岳分岐まで戻ったら直進し二口登山口に向かって下る。溝状の登山道は粘土質の土で滑りやすいが、しばらく雨が降ってないので乾いていて歩き易い。しばらく下ると岩のヤセ尾根を下るようになり、中間点の標識がある尾根で小休止する。ここから少し下ると美しいブナ林の中を下り、コース唯一の水場がある「護人清水」に着く。湧水は冷たくて美味しく、乾いた喉を潤してくれる。ここから我輩と廣瀬さんは先行して下り、デポした車で二分登山口に置いた車を回収する。二口登山口に戻ると皆さん下山してトイレを済ませていた。靴を履き替えたら車に乗り帰路に着く。往路を戻り、途中道の駅「ゆのたに」に寄ってお土産をゲットし、予定より早く岩舟支所に帰着した。



下山開始し、大岳分岐まで戻ったら直進し二口登山口に向かって下る。溝状の登山道は粘土質の土で滑りやすいが、しばらく雨が降ってないので乾いていて歩き易い。しばらく下ると岩のヤセ尾根を下るようになり、中間点の標識がある尾根で小休止する。ここから少し下ると美しいブナ林の中を下り、コース唯一の水場がある「護人清水」に着く。湧水は冷たくて美味しく、乾いた喉を潤してくれる。ここから我輩と廣瀬さんは先行して下り、デポした車で二分登山口に置いた車を回収する。二口登山口に戻ると皆さん下山してトイレを済ませていた。靴を履き替えたら車に乗り帰路に着く。往路を戻り、途中道の駅「ゆのたに」に寄ってお土産をゲットし、予定より早く岩舟支所に帰着した。